

万が一に備え、訓練を重ねる

◎鬼北町消防団夏季訓練

署長の説明を熱心に聞く第1分団員



7月17日、町内各地で「鬼北町消防団夏季訓練」が実施されました。毎年、各分団が独自に作成した計画書に沿って実施されている本訓練では、厳しい暑さの中で、団員たちの熱心な訓練が繰り広げられています。基本の礼式訓練や機械器具点検の他、中継放水訓練、ポンプ操法や連結訓練などを行った分団もありました。

町内の消防防災に欠かすことのできない消防団。いつ起きるか分からない災害に対し、迅速かつ正確に対応できるよう、団員たちは真剣な眼差しで訓練に取り組んでいました。

鬼の町に灯りをともす、小さな果実

◎鬼灯まつり

鬼王丸も富母里神楽を見守る



鬼北町発掘隊（隊長・上甲民治）が主催する「鬼灯まつり」は7月16日、道の駅森の三角ぼうしで行われました。

本イベントは「鬼」の文字がつく「鬼灯」が鬼北町の特産品になるために、多くの人に食用鬼灯の魅力を発信しようと実施されているもので、今年で2回目となります。

今回は生の食用鬼灯のほか、鬼灯を煮詰めてシロップにした「鬼灯かき氷」の販売も実施。購入者は「みかんみたいな味」と驚いた表情を見せていました。さらに、ステージでは鬼灯の形をした提灯の灯りに照らされながら、富母里神楽などが披露されました。

ひと夏の思い出を鬼北町で

◎夏・学べ・遊べ こども冒険学校！2016

手作りしたおみこしを担いで練り歩き



8月4日から6日までの3日間、成川溪谷で「こども冒険学校2016」が行われました。

今回松山市を中心とした県内から参加した約80人の子どもたちは、山や川などで鬼北の夏を満喫しました。子どもたちは、自分たちが収穫した野菜でピザを作ったり、おみこしや水鉄砲を作ったりと、友達と協力し試行錯誤しながら、さまざまなことに挑戦していました。

最終日には、あちらこちらから「また来年も鬼北に来る」という声が聞こえてくるほど、この3日間は子どもたちにとって、忘れられない大切な思い出となったようです。

猛暑を乗り切る男の料理

◎メンズエプロン教室

猪石講師の包丁さばきに、釘付け



7月22日、日吉保健センターで鬼北町生活研究協議会（会長・井谷恵子）が主催する「メンズエプロン教室」が行われました。

この日参加した町内の男性9人は、鬼北町生活研究協議会の会員の指導を受けながら、南蛮漬けや梅ゼリーなどの、夏バテを予防する栄養満点の料理4品を作りました。

また、今回は宇和島市の和食料理人、猪石和雄さんを講師に迎え、参加者に魚のさばき方を伝授。参加者のみならず、鬼北町生活研究協議会の会員たちも、大きくうなずきながら、熱心に見入っていました。